

佐野市立犬伏小学校



校長室だより



令和5年度 第20号
R6.1.22
館野 道明

創立150周年記念 ようこそ！石井琢朗先輩 特別授業

創立150周年を記念し、1月16日、昭和57年度犬伏小学校の卒業生である、元プロ野球選手、現横浜DeNAベイスターズのコーチである石井琢朗氏による「ようこそ先輩 特別授業」を実施しました。

午前中は下学年、午後は上学年が体育館に集まって授業がありました。石井先輩の小学校時代の思い出を当てるクイズや子どもたちからの質問、バッティングとキャッチボールの実演などで、会場は大いに盛り上がりました。

午後は、石井先輩が犬伏小3年生時の担任であり、本校第29代校長（平17.4～平21.3）であります川崎廣三先生にも授業に加わっていただき、当時の思い出などを語っていただきました。

石井琢朗先輩は前向きな言葉でたくさん語ってくださり、最後に、犬伏小のみなさんへ3つの言葉が贈られました。

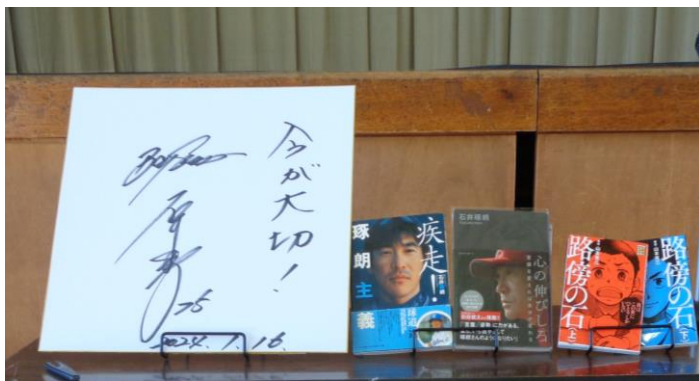
1 夢をもちましょう！ 夢は見るものではなく、叶えるものです。

2 一生懸命生きましょう！ みなさんはその夢を叶える可能性をもっています。

夢を叶え、目標を達成するために一生懸命生きましょう。

3 両親に感謝しましょう！ 今の自分があるのは両親のおかげです。両親に感謝しましょう。

「言葉の力を信じる」という石井琢朗先輩ならではの素晴らしい授業でした。



山本有三さんの言葉
「たった一人しかない自分を
たった一度しかない一生を
ほんとうに生かさなかったら、
人間、
生まれてきたか
ないじゃないか。」

山本有三 著
「路傍の石」
上下巻

石井琢朗 著
「心の伸びしろ」
「疾走！琢朗主義」

石井琢朗さん
直筆サイン色紙
「今が大切！」

最後に、この言葉も贈っていただきました。
石井さんが小さい頃から、お母様がずっと語っていた言葉だそうです。今だから、この言葉の意味がよく分かる。いつか、君たちにも分かるときがくると、最後に熱く語っていただきました。

※石井先輩からいただきました本4冊は図書室にあります。

※体育館の飾り付けは、5年生の女子4名と4年生の女子1名が、自分から進んで行ってくれました。



能登半島地震で被災された方々のために 自分たちにできること



冬休み明け全校放送や全校集会において、能登半島地震や阪神・淡路大地震の話をする中で、自分たちに何かできることはないか考えてみようと呼びかけました。

すると、すぐに、六年二組の男子一名が校長室を訪れ、「募金活動をやってみたいですよ」と提案してきました。

翌日には、四年三組の女子二名が校長室に「レスキュー募金」と題して、募金のチラシを作って持ってきました。

たいへん感動しました。災害から何かを感じて、自ら動いた三人です。まさに「自主考動」の鏡です。誇りに思います。

ぜひ、三人の行動がきっかけとなり、全校に波紋のように広がって行くことを期待しています。

大谷選手からのプレゼント!!

1月18日に贈呈式を行いました。
6年生から順番に回し、間近で見たり、手に取ったりし、さらには休み時間にも使えるようにする予定です。



2月の学習発表会の際には、保護者の皆様にもご覧いただこうと思っています。

大谷選手からの手紙(全文)

メジャーリーガーの大谷翔平です。

この手紙は、このたび私が学校に通う子供たちが野球に興味を持ってもらうために立ち上げたプログラムをご紹介するためのものです。

この3つのグローブは学校への寄付となります。
それ以上に私はこのグローブが、私たちに次の世代に夢を与え、勇気づけるためのシンボルになることを望んでいます。それは、野球こそが、私が充実した人生を送る機会を与えてくれたスポーツだからです。

このグローブを学校でお互いに共有し、野球を楽しんでもらうために私からのこの個人的なメッセージを学校の生徒たちに伝えていただけたら幸いです。

この機会に、グローブの寄贈をさせていただけることに感謝いたします。

貴校の益々のご発展をお祈り申し上げます。

野球しようぜ。
大谷翔平



人に夢や希望を与え、人に喜んでもらえることに、心と頭とお金をつかい、それができると感謝するというのです。大谷選手の考え方、行い、カッコいい生き方に、多くのことを学ぶことができ、とても感銘を受けます。ぜひ、見習いたいと思います。